

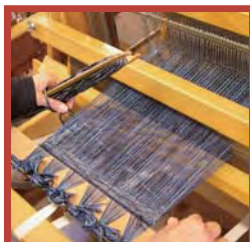
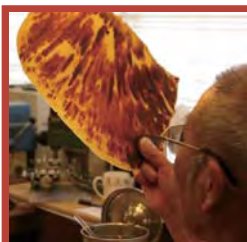
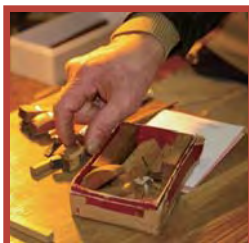
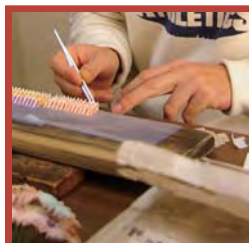
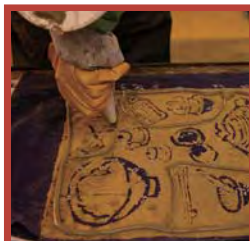
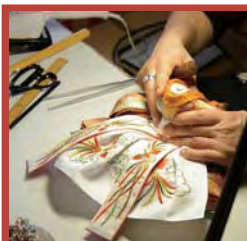


東京の伝統工芸品



見学・体験工房案内

行って・見て・触って・作って・感じて



東京都

目次

東京の伝統工芸品・p3

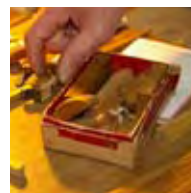
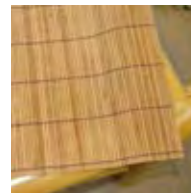
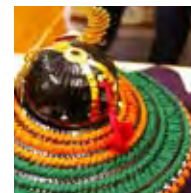
見学・体験工房案内一覧マップ・p4-5

見学・体験工房案内一覧目次・p6-7

見学・体験工房案内（38施設）・p8-47

伝統工芸品にふれる公共施設（11施設）・p48-53

東京の伝統工芸品指定品目一覧・p54



東京の伝統工芸品

東京の伝統工芸品は、長い年月を経て東京の風土と歴史の中で生まれ、時代を超えて受け継がれた伝統的な技術・技法により作られています。伝統工芸品は、手作りの素朴な味わい、親しみやすさ、優れた機能性等が、大量生産される画一的な商品に比べて、私たちの生活に豊かさと潤いを与えてくれます。

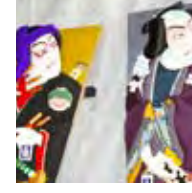
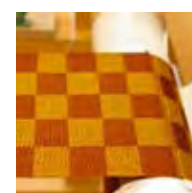
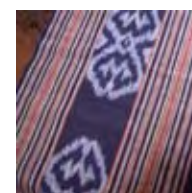
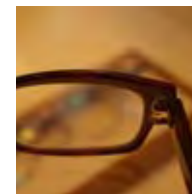
伝統工芸品は地域に根ざした地場産業として地域経済の発展に寄与するとともに、地域の文化を担う大きな役割を果たしてきており、現在41品目が指定されています。

伝統工芸品見学・体験工房

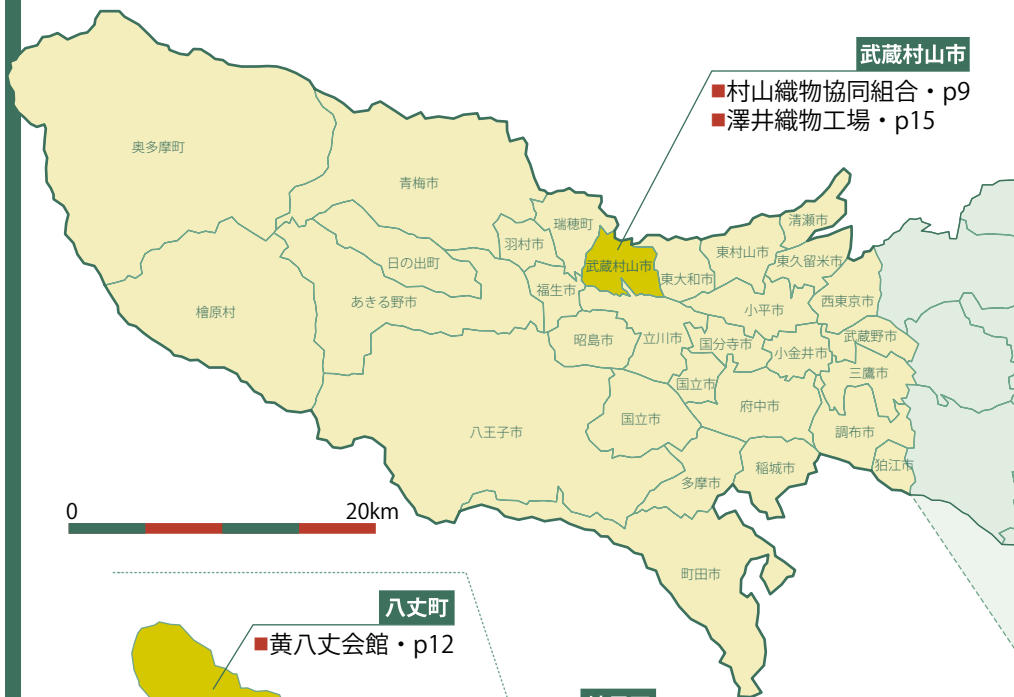
このパンフレットでは、東京の伝統工芸品の見学・体験ができる工房をご紹介します。

■見学・体験の際の注意事項■

- 1 ご利用は事前予約が必要です。必ず所在地へ連絡をおとりください。
- 2 見学・体験が可能な日や時間などは、各工房のページを確認してください。
- 3 工房により、見学のみ、体験のみの場合があります。各工房のページを確認してください。
- 4 団体の受け入れをしていない工房もありますのでご注意ください。
- 5 掲載された金額は1人にかかる金額です。
- 6 見学・体験はマナーを守り、予約直前のキャンセルはご遠慮いただくとともに、やむを得ずキャンセルする場合は、必ず事前に連絡してください。



東京の伝統工芸品 見学・体験工房案内



八丈町
■黄八丈会館・p12



練馬区
■石神井公園ふるさと文化館・p50

豊島区
■全国伝統的工芸品センター・p53

杉並区
■御人形司 市川豊玉(東京本社)・p31

新宿区
■東京染ものがたり博物館・p10・11
■東京手描友禅工房 協美・p14
■つまみかんざし博物館・p21
■染の里 二葉苑・p28
■アダチ版画研究所・p42

港区
■中小企業基盤整備機構 テスト
マーケティングショップ R i n ・p53

足立区
■松崎人形(幸一光)・p32
■庄三郎・p37

荒川区
■井上 喜夫・p24
■荒川区立荒川ふるさと文化館・p50

文京区
■大澤龍甲・p16
■加藤 鞠美・p35

台東区

■真多呂人形会館・p13
■赤塚ベッ甲製作所・p17
■青嶋仏壇製作所・p20
■額縁工房田島・p22
■東京象牙美術工芸協同組合・p23
■木村 正・p25
■江戸指物処 渡辺・p26
■田中製簾所・p27
■竿富・p30
■東京松屋ショールーム・ショップ・p41
■坂森七宝工芸店・p43
■宮川刷毛ブラシ製作所・p44
■花藤・p45
■大嶋屋恩田・p46
■山崎源七提灯店・p47
■台東区立江戸下町伝統工芸館・p48

葛飾区

■関東注染工業協同組合
「手拭実染塾」・p29
■南川禄三郎商店・p34
■葛飾区伝統産業館・p51

江戸川区

■向山楽器店・p38
■ベーカリーカフェ
「フォレスト」
(グリーンパレス内)・p52

墨田区

■磯貝ベッ甲専門店・p18
■森田商店・p19
■工房ショップ おみねらたん・p36
■すみだ郷土文化資料館・p49
■江戸東京博物館・p52

大田区
■かねこ琴三絃
楽器店・p40

江東区
■彩り硝子工芸・p33
■近藤染工(良寛染元)・p39
■工匠壺番館・式番館・p49
■伝統工芸カフェ・アルティザン
(篠崎文化プラザ)・p51

凡例

市区町村名

■見学・体験工房名・掲載ページ
■伝統工芸品にふれる公共施設(参考)

見学・体験工房案内

村山大島紬	村山織物協同組合	9
東京染小紋	東京染ものがたり博物館	10
江戸更紗		11
本場黄八丈	黄八丈会館	12
江戸木目込人形	真多呂人形会館	13
東京手描友禅	東京手描友禅工房 協美	14
多摩織	澤井織物工場	15
江戸鼈甲	大澤鼈甲	16
	赤塚ベッ甲製作所	17
	磯貝ベッ甲専門店	18
	森田商店	19
東京仏壇	青嶋仏壇製作所	20
江戸つまみ簪	つまみかんざし博物館	21
東京額縁	額縁工房田島	22
江戸象牙	東京象牙美術工芸協同組合	23
江戸指物	井上 喜夫	24
	木村 正	25
	江戸指物処 渡辺	26
江戸簾	田中製簾所	27
江戸更紗	染の里 二葉苑	28
東京本染ゆかた	関東注染工業協同組合「手拭実染塾」	29
江戸和竿	竿富	30
江戸衣裳着人形	御人形司 市川豊玉	31
	松崎人形（幸一光）	32
江戸切子	彩り硝子工芸	33
江戸押絵羽子板	南川禄三郎商店	34

江戸甲冑	加藤 鞆美	35
東京藤工芸	工房ショップ おみねらたん	36
東京打刃物	庄三郎	37
東京三味線	向山楽器店	38
東京無地染	近藤染工（良寛染元）	39
東京琴	かねこ琴三絃楽器店	40
江戸からかみ	東京松屋 ショールーム・ショップ	41
江戸木版画	アダチ版画研究所	42
東京七宝	坂森七宝工芸店	43
東京手植ブラシ	宮川刷毛ブラシ製作所	44
江戸手描提灯	花藤	45
	大嶋屋恩田	46
	山崎源七提灯店	47
(参考) 伝統工芸品にふれる公共施設		48
	台東区立江戸下町伝統工芸館	48
	すみだ郷土文化資料館	49
	工匠壺番館・式番館	49
	荒川区立荒川ふるさと文化館	50
	石神井公園ふるさと文化館	50
	葛飾区伝統産業館	51
	篠崎文化プラザ 伝統工芸カフェ・アルティザン	51
	グリーンパレス内ベーカリーカフェ「フォレスト」	52
	江戸東京博物館	52
	全国伝統的工芸品センター	53
	中小企業基盤整備機構テストマーケティングショップ R i n	53

見学・体験工房案内

伝統工芸品の見学・体験ができる工房をご紹介します。
各工房の見学・体験のエッセンスを掲載していますので、興味がわいたら、やってみたいと思ったら、まずは工房へ連絡してみましょう。

見学

見学可能な工房のページにこのマークがついています。

体験

体験可能な工房のページにこのマークがついています。

見学の内容

見学できる工程や見どころなどを紹介しています。

体験の内容

制作物や体験できる工程を簡単に説明しています。

見学・体験の概要

料金や時間など、見学・体験の概要をまとめています。

問合先

所在地やアクセス方法、連絡先です。申し込みの際に参照してください。

工芸品名

工房名

見学	体験	見学の内容	体験の内容	見学・体験の概要	問合先
江戸製甲	磯貝べっ甲専門店	昭和14年(1939年)創業、戦争や東京オリンピック開催、田舎の移転など、地域の変遷のかたわらでべっ甲製品を作り続けてきた工房です。真国国技館や江戸東京博物館を訪れたなら、少し足を伸ばしてみてください。明治から昭和の時代を映す製品を展示した「小さな博物館」や、職人の技で下町の粋を感じてみませんか。	さまざまな作品が並ぶショールームのほか、べっ甲の歴史をたどる小さな「べっ甲博物館」があります。時代によって異なるべっ甲製品の特徴と、現代のセンスで作られた製品とを見比べるのも一興です。	さまざまな作品が並ぶショールームのほか、べっ甲の歴史をたどる小さな「べっ甲博物館」があります。時代によって異なるべっ甲製品の特徴と、現代のセンスで作られた製品とを見比べるのも一興です。	江戸の昔から貴重な材料とされていたべっ甲製の装身具を、身につけてみませんか。べっ甲の斑(ふ)が美しいペンダントを作ります。素材の加工から体験まで、短い時間で仕上げ持ち帰れます。

■見学/料金 無料/定員 5~6名程度/対象 小学校高学年以上/所要時間 約20分

■体験/料金 3,000円/定員 5~6名程度/対象 中学生以上/所要時間 約2時間(未経験者は2時間半程度)

■見学・体験可能日 平日/時間 10:00~18:00 ※体験は雨でもよい服装で。

問合先 株式会社 磯貝べっ甲専門店

■所在地 〒130-0015 墨田区横網 2-5-5

■アクセス JR総武線「西国」駅西口徒歩7分
都営大江戸線「西国」駅徒歩5分

■TEL 03-3625-5875 / FAX 03-3622-1537
HP <http://sogai-beikko.com>

案内マップ

工房の所在地を最寄り駅などから案内しています。
■が工房の所在地です。



■見学/料金 無料/所要時間 1時間
程度/営業時間 9:30 ~ 16:00 / 休館日 土日祝日、年末年始
※製作工房の見学や体験教室(年1回)への参加については、組合へ要問合
※営業時間内の訪問は予約不要。ただし、団体の場合は電話にて要予約。

村山織物協同組合

むらやまおりものきょうどうくみあい

現在の武蔵村山市周辺は、江戸時代、木綿の紺紬こんかすりの産地でした。その後大正時代に新たに絹織物の技術つむぎを導入・発展させ、本場奄美大島紬と並び称せられるまでになり、村山大島紬として全国的な知名度を獲得しました。現在、組合では、時代にマッチした商品の開発と積極的な広報活動を展開しています。

昭和3年(1928年)に建てられた村山織物協同組合の事務所は、武蔵村山市の指定有形文化財となっています。趣のある昭和初期の木造建築の存在感は、伝統の重みがあります。基本的に1階奥の資料室を中心にした見学だけのプログラム。実物の道具や途中段階の製品をたくみに活用して、「板締め染色」という独自の技法がわかりやすく説明されています。さらに別室で、より詳しく製作過程を記録したビデオ鑑賞も可能。

見学



問合先 村山織物協同組合

■所在地 〒208-0004 武蔵村山市本町 2-2-1

■アクセス JR中央線「立川」駅北口バス乗り場(1番)から「箱根ヶ崎駅」または「三ツ藤住宅」または「瑞穂営業所」行きのバスに乗り、「横田」バス停で下車すぐ前

■TEL 042-560-0031 / FAX 042-560-6252
HP <http://www10.ocn.ne.jp/~murayama/>



東京染ものがたり博物館

とうきょうそめものがたりはくぶつかん

都電荒川線の小さな駅「面影橋^{たなず}」で降りて、神田川沿いの遊歩道を進むと静寂の中に佇んでいる染め工房。明治の初めから粋でモダンな着物をつくり続けています。更紗や型染めの創作現場は、染めを学べる新宿ミニ博物館。体験や見学に訪れる人びとを5代目のご主人、富田篤さんがにこやかに迎えてくれます。「染ものがたり」の始まりです。

見学

型染めと糊の塗布を行う作業場をのぞいてみましょう。周囲には小紋と更紗の道具類や染めた布などが、製作工程の説明パネルとともに展示されています。有料の体験講座に参加するとほかの作業場も見学することができます。

体験

絹^{しろきじ}の白生地に型紙を置き、糊をのせて粋な小紋柄を染めてみましょう。型紙の彫られた部分が美しい紋様に染め抜かれます。色づくりや蒸しを行う4つの作業場見学も含まれています。わかりやすい解説を聞きながら小紋の知識がぐっと高まります。染めをより深く知ることができる講義もあり、染色を体系的に学べる体験講座。染め付け体験・見学・講義の順番は前後することがあります。

■見学／料金 無料（解説なし。型付けを行う板場と展示物を自由に見学）／所要時間 30分程度／見学可能日 月～金（臨時休館あり）／時間 10:00～12:00・13:00～16:00

■体験（1週間前までにFAXで要予約）／料金 小裂^{こぎれ}2,000円・袱紗^{ふくさ}4,500円（講義と解説つき。工房見学を含む）／所要時間 1時間30分～2時間／体験可能日 月・火・木・金・第3土曜日（5名以上で開催）／時間 9:00～16:00

※小裂は30cm×30cm。袱紗に縫製してもらうことも可。作品の発送は小裂が1週間後、袱紗は1か月後。



■見学／左ページ参照

■体験（1週間前までにFAXで要予約）／料金 2,000円／所要時間 約1時間／体験可能日 月・火・木・金・第3土曜日（5名以上で開催）／時間 9:00～16:00

問合先 東京染ものがたり博物館
(株式会社富田染工芸)

■所在地／〒169-0051 新宿区西早稲田3-6-14

■アクセス／都電荒川線「面影橋」駅下車徒歩2分
／JR山手線「高田馬場」駅・東京メトロ東西線「高田馬場」「早稲田」駅下車 徒歩15分

■TEL 03-3987-0701 / FAX 03-3980-2519
／メール tomisen@mtj.biglobe.ne.jp

※TEL、メールは問い合わせのみ。体験申込はFAXで受け付け。

型染めを行う作業場をのぞいてみましょう。周囲には更紗と小紋の道具類や染めた布などが、製作工程の説明パネルとともに展示されています。所要時間は約30分。小紋の体験講座（有料）に参加するとほかの作業場も見学することができます。

型紙の上から小さな刷毛（はけ）で色をこすって、ハンカチに季節の花などを染めてみましょう。ほんの少し力を入れ具合を変えるだけで微妙な色合いを出すことができます。所要時間は約1時間。作品は持ち帰ることができます。



本場黄八丈

黄八丈会館

きはちじょうかいかん

伊豆七島の最南端、黒潮に浮かぶ八丈島に古くから伝わる、草木染めと手織りの絹織物「本場黄八丈」の拠点。本会館は黄八丈織物協同組合の職人が糸繰り・糸巻き・整経を行う作業場として使われています。毎年3月に行われる八丈島産業祭の展示会場にもなっており、黄八丈に魅せられた多くの人で賑わいます。



見学

手織りする前の糸繰り・糸巻き・整経をガラス越しに見学できます。職人が作業しているときのみ可能。所要時間は作業内容により異なります。

※整経：糸繰りした経糸の長さ・本数・張りをそろえて柄組みをする工程

体験

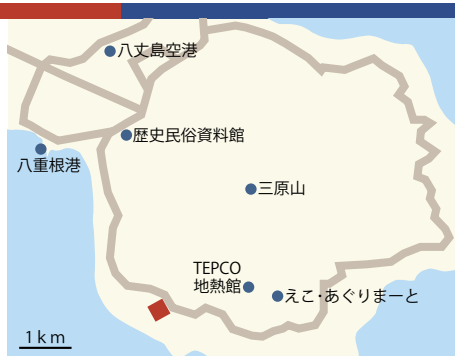
コースター（片平織り・10 cm × 11 cm）や置物などに敷く小センター（綾織・13 cm × 15.5 cm）の手織りにチャレンジしてみましょう。渋さの中に華やかさを秘めた、粋な縦縞や格子柄を自分で織ることができる貴重な体験です。所要時間は30～40分。作品は約2週間後に送付されます。



- 見学／料金 無料（職人が作業しているときのみ）／所要時間 職人の作業内容により異なる
- 体験／料金 コースター 1,500 円、小センター 2,500 円／定員 10 名（11 名以上も応相談）／対象 中学生以上／所要時間 コースター：30 分程度、小センター：40 分程度
- 休日 土日祝日、年末年始、夏期休業日／時間 9:00～16:00
※体験は電話またはファックスで前日までに要予約。

問合先 黄八丈織物協同組合

- 所在地 〒100-1621 八丈町榎立 346-1
- アクセス／【八丈島空港から】タクシーで15～20分／町営バスで「町役場」行き、終点で「末吉」行きに乗り換え、「榎立出張所前」下車徒歩1分
- TEL 04996-7-0516 / FAX 04996-7-0516



江戸木目込人形

真多呂人形会館

またろにんぎょうかいかん

「木目込人形」の発祥は、今から270年前の京都、上加茂神社。後年、江戸でも盛んに作られるようになりました。「桐塑（桐の粉としょうふのりを混ぜた粘土）」でかたどりした胴に、錦の布地を貼り付け、布の端を筋彫りした溝に「木目込で」着物を着ているように仕上げた人形で、彫刻的な輪郭とポーズ、布地の美しさ、面相描きされた淡い表情などが特徴です。



「江戸木目込人形」の伝統技法を、先生のやさしい手ほどきを受けながら、学ぶことができます。体験中に人形1体を完成させるのは難しいですが、「木目込」技法の基礎は、十分に習得することができます。子や孫に手作りのひな人形を贈るために、学んでいる方も多くいます。

体験

- 体験／料金 小・中学生 2,000 円～、大人 3,150 円～（制作する人形によって料金が異なる）／定員 20 名程度／対象 小学校高学年以上／所要時間 2 時間（当日中に完成しない場合あり）／開催日 火・水・木（上野教室の場合）／時間 10:00～12:00 または 13:30～15:30（水曜日の午後は 13:00～15:00）



問合先 真多呂人形学院

- 所在地 〒110-8505 台東区上野 5-15-13 真多呂人形会館
- アクセス／都営大江戸線「上野御徒町」駅下車徒歩5分／東京メトロ日比谷線「仲御徒町」駅下車2番出口すぐ
- TEL 03-3833-9663 / FAX 03-3833-9669
／メール gakuin@mataro.co.jp
／HP <http://www.mataro.co.jp>



東京手描友禪工房 協美

とうきょうてがきゆうぜんこうぼうきょうび

石川県生まれの大澤敏さんが、1965年に独立して創業。幼少より絵の才に恵まれていたことから、知人を介して手描友禪の工房に弟子入り。現在では、後を継いだご子息の学さん、そして敏さんの奥様の家族3人で運営している工房です。



澤井織物工場

さわいおりものこうじょう

古くから絹の道・桑の都と呼ばれた八王子北部で、絹織物の技を、100年以上にわたって伝承している工房。伝統的な綴れお召し織・風通織・粋紗織の着尺・袴地が代表作です。柔らかい風合いの楊柳ストールやネクタイなど、おしゃれな洋装小物も魅力にあふれています。

見学

八王子北部に広がるのどかな集落で、紬を手織りする作業場やシャトル織機で伝統的なお召し織や風通織の袴地をつくる職人の作業を間近で見ることができます。所要時間は解説付きで約30分。

体験

平織りでシルクのテーブルセンターをつくれます。高機でトントンとリズムカルに打ち込みながら布を織り上げる、楽しい作業です。所要時間は30～60分。作品は当日持ち帰ることができます。

体験

「1日友禪体験教室」は「半襟」の色付け作業。数種の下絵から好みの柄、着色したい色を選び、約4時間程度をかけて、丁寧な指導の下で仕上げます。完成品は、約1か月後に郵送されるしくみ。また、継続的に技法を学べる教室への参加者も受け付けています。



■体験／料金 6,000円／定員 1～5名程度／対象 成人（子どもは要相談）／所要時間 約5時間

■休日 日・祭日、年末年始／時間 13:00～17:00（工房の営業時間は9:00～18:00）

※完成品は約1か月後に郵送。



■見学／料金 200円（解説つき）／所要時間 30分

■体験／料金 2,000円／定員 1～5名／所要時間 30～60分

■休日 日曜日、年末年始、夏期休業日（ただし、日曜日も応相談）／時間 10:00～15:00

※見学・体験とも2週間前までに要予約。

問合先 東京手描友禪工房 協美

■所在地 〒161-0033 新宿区下落合4-6-17

■アクセス 西武新宿線「下落合」駅下車徒歩5分

■TEL 03-3954-3331 / FAX 03-3954-3332

／メール info@yu-zen.net

／HP <http://www.yu-zen.net>



問合先 有限会社 澤井織物工場

■所在地 〒192-0002 八王子市高月町1181

■アクセス 【電車】JR青梅線・八高線・五日市線および西武拝島線「拝島駅」より西東京バス「杏林大学」行き（高月経由）で15～20分、「高月」下車徒歩3分【車】中央高速八王子インター第2出口をあきる野方面へ10分（駐車スペースあり）

■TEL 042-691-1032 / FAX 042-691-1729

／メール sawai_orimono@silk.plala.or.jp



大澤鼈甲

おおさわべっこう

千駄木にある、お洒落なべっこうショップ。二代目若社長の大澤健吾さんが、新しい顧客層を取り込んでいきたいと立ち上げた、べっこう眼鏡フレームの自社ブランド「KUAI」は、国際的な眼鏡の展示商談会に初出展でいきなり 2011 年度のラグジュアリー部門最優秀賞を受賞。眼鏡業界、べっこう業界の両方をわかせています。

見学

モダンな店舗奥の階段を上がると、べっこう眼鏡フレームを製造している工房が広がっています。見所は、生地を傷を整える「荒削り」、水と熱と圧力のみで生地を接着させる「張り合わせ」など、たくさんありますが、どの工程が見学できるかは、その日の製作状況によって変動しますので、とくに見たい工程がある方は、あらかじめ相談しましょう。



■見学／料金 無料／定員 4～5名／対象 小中高生（実際の製造現場のため、基本的には、学習を目的とした学生が対象）／所要時間 30分～1時間程度／見学可能日 平日（1ヵ月以上前から電話、メールで要事前予約）／時間 9:00～18:00

問合先 大澤鼈甲 株式会社

■所在地／〒113-0022 文京区千駄木 3-37-15
 ■アクセス／東京メトロ千代田線「千駄木」駅下車 団子坂出口より徒歩 2 分
 ■TEL 03-3823-0038 / FAX 03-3822-7088
 / メール shop@osawabekko.co.jp
 / HP http://www.osawabekko.co.jp/



赤塚ベッコ甲製作所

あかつかべっこうせいさくじょ

昭和 41（1966）年に赤塚博さんが創業した、べっこう眼鏡フレームに定評のある工房兼店舗。最近、眼鏡フレームも総べっこうで仕上げるものは少なく、眼鏡フレームの一部分のみをべっこうで仕上げるのが人気のなか、息子で 2 代目の頭さんは、総べっこう眼鏡フレームの製作技術の伝統を守りつつ、さらに新たなべっこう製品の製作を模索し続けています。



使い勝手が考え抜かれ、コンパクトにまとめた「工房＝店舗」です。店内のあちこちには、寄席の紙切り細工など。粋な飾りつけも楽しめる場所です。

体験専用の機が用意され、材料の下ごしらえもできている赤塚さんの体験教室。眼鏡やかんざしは無理ですが、やる気次第では自分だけのアクセサリも。中高生の場合は、キーホルダーを作ります。作品は当日持ち帰りできます。

■見学 料金 無料／定員 6名程度／対象 小学生以上／所要時間 約1時間
 ■体験 料金 中学生 2,000 円、一般 3,000 円～／定員 4名程度／対象 中学生以上／所要時間 約2時間
 ■見学・体験可能日 随時（体験は希望日の1か月前より電話で申し込み／料金も事前に要確認）／時間 9:00～18:00（土日は17:00 まで）
 ※体験の制作物は、中高生はキーホルダー。一般はペンダント、イヤリング、ブローチなどから選択。作品は当日持ち帰り可能。



問合先 有限会社 赤塚ベッコ甲製作所

■所在地／〒110-0001 台東区谷中 7-6-7
 ■アクセス／JR 山手線「日暮里」駅南口下車徒歩 7 分
 ■TEL 03-3828-7957 / FAX 03-3828-0054



見学

体験

森田商店
もりたしょうてん

江戸時代から続くべっ甲職人の家に生まれた森田孝雄さん。和風の庭に面した自宅内の工房には、代々引き継がれてきた道具類や、新しく工夫された工具が並んでいます。べっ甲工芸の基本とも言える「張り合わせ」作業は必見。張り合わせに使う鉄板を熱するために、いつでもコンロが焚かれている工房です。

見学

生地切り出しから磨きまで「江戸鼈甲」の製造工程をあますところなく、見学・体験できます。なかでも、接着剤を使わずに、水と熱と圧力のみで生地を張り合わせる工程は必見です。

体験

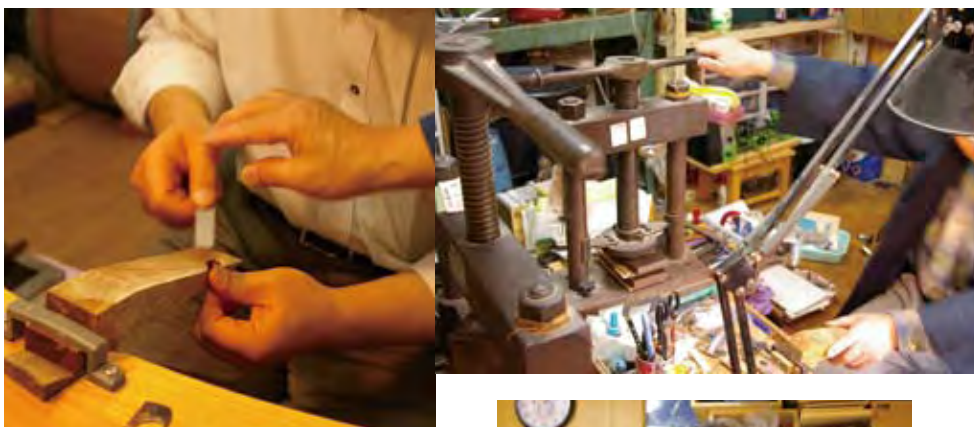
2時間程度でべっ甲のストラップを作ります。最後に好きな文字を刻印してから郵送してもらえます。

- 見学／料金 無料／定員 5名程度／所要時間 約2時間
 - 体験／料金 3,000円／定員 3名程度／対象 中学生以上／所要時間 約2時間
 - 見学・体験可能日 平日／時間 13:00～17:00
- ※体験は要予約



問合先 森田商店

- 所在地／〒116-0012 荒川区東尾久 1-16-10
- アクセス／日暮里・舎人ライナー「赤土小学校前」駅東口下車 徒歩5分
- TEL 03-3892-3641 / FAX 03-3892-3641



磯貝べっ甲専門店

いそがいべっこうせんもんてん

昭和14年（1939年）創業、戦争や東京オリンピック開催、国技館の移転など、地域の変遷のかたわらでべっ甲製品を作り続けてきた工房です。両国国技館や江戸東京博物館を訪れたなら、少し足を伸ばしてください。明治から昭和の時代を映す製品を展示した「小さな博物館」や、職人の技で下町の粋を感じてみませんか。

見学

さまざまな作品が並ぶショールームのほか、べっ甲の歴史をたどる小さな「べっ甲博物館」があります。時代によって異なるべっ甲製品の特徴と、現代のセンスで作られた製品とを見比べるのも一興です。

体験

江戸の昔から貴重な材料とされていたべっ甲製の装身具を、身につけてみませんか。べっ甲の斑（ふ）が美しいペンダントを作ります。素材の加工から体験まで、短い時間で仕上げて持ち帰りできます。



- 見学／料金 無料／定員 5～6名程度／対象 小学校高学年以上／所要時間 約20分
 - 体験／料金 3,000円／定員 5～6名程度／対象 中学生以上／所要時間 約2時間（未経験者は2時間半程度）
 - 見学・体験可能日 平日／時間 10:00～18:00
- ※体験は汚れてもいい服装で。

問合先 株式会社 磯貝べっ甲専門店

- 所在地／〒130-0015 墨田区横綱 2-5-5
- アクセス／JR 総武線「両国」駅西口徒歩7分
／都営大江戸線「両国」駅徒歩5分
- TEL 03-3625-5875 / FAX 03-3622-1537
／HP <http://isogai-bekko.com>



青嶋仏壇製作所

あおしまぶつだんせいさくじょ

指物を起源として始まり、戦後に仏壇専業となった工房です。金具を多用しない簡素な美しさに定評があり、唐木仏壇が中心に作られています。東京仏壇に独特の丸みや温かさは、歴史を継ぐ職人の手からしか生まれません。

見学

工房には大きさ、意匠の異なるさまざまな仏壇が置かれています。どれも手作りの温かみを感じるものばかりです。製造工程のうち、木地づくりと、組み立ての一部が見学できます。見学工程の中では、屋久杉を切ったりノミを入たりするなど、木材にふれることもできます。修学旅行生が多く見学に訪れています。



■見学／料金 無料／定員 5名程度／所要時間 1時間30分～2時間／見学可能日 平日（要相談）／時間 10:00～
※細かい切りくずが出る場合があるので、汚れてもかまわない服装で。

問合先 青嶋仏壇製作所

■所在地／〒110-0016 台東区台東 4-21-21
■アクセス／JR山手線「御徒町」駅下車徒歩7分／都営大江戸線・つくばエクスプレス「新御徒町」駅下車徒歩4分
■TEL 03-3831-9713 / FAX 03-3832-6362



つまみかんざし博物館

つまみかんざしはくぶつかん

小規模ながら、工夫を凝らした展示スペースが魅力の、新宿ミニ博物館のひとつ。自宅兼工房の玄関に作品を展示し、マンションの階段には過去の作品や職人の系譜を紹介したパネルを設置しています。小さな花びらを1枚1枚重ねていくような、緻密で華やかな作品世界を見てみましょう。

見学

つまみかんざし博物館は、4階建マンション最上階の自宅にあります。華やかで繊細なつまみ簪の展示と、技術や歴史がわかるパネルが掲示されたミニ博物館です。階段の壁面に飾られた展示パネルを見ながら上るごとに知識が深まります。



■見学／料金 無料／定員 特になし（団体は要事前連絡）／所要時間 10～20分程度（階段部分の展示を含む）／開館日 毎週水・土のみ（年末年始は閉館）／時間 10:00～17:00

問合先 つまみかんざし博物館

■所在地／〒169-0075 新宿区高田馬場 4-23-28 ヒルズ ISHIDA401 号
■アクセス／JR山手線「高田馬場」駅より徒歩2分／東京メトロ東西線「高田馬場」駅・西武新宿線「高田馬場」駅より徒歩5分
■TEL 03-3361-3083 / FAX 03-3361-3083
／メール kanzasi@ask.ne.jp
／HP <http://www.ask.ne.jp/~kanzasi/>



額縁工房田島

がくぶちこうぼうたじま

描かれた絵画、展示場所に合わせ、作家とのやりとりから、すべての額縁を手作りで仕上げています。工房には製作中の額縁が並んでおり、額縁の色みや装飾により、いかに絵画の雰囲気に変化するのかが、よく分かります。

額縁製作工程のうち、金箔を額に押す体験ができます。まずサンプルの額縁に箔を押して練習します。その後、写真額に箔押しをします。作品は記念に持ち帰れます。

- 体験／料金 1,500円／
定員 6～7名程度／所
要時間 約2時間
※要事前連絡（繁忙期の受け入れは難しいため）。



東京象牙美術工芸協同組合

とうきょうぞうげびじゅつこうげいきょうどうくみあい

乳白色の輝きをたたえる象牙は、すでに奈良時代には日本に伝わっており、正倉院宝物の中にも「紅牙撥鎖尺（こうがばちるしゃく）」などの象牙工芸品が所蔵されています。江戸時代には、武士から町人まで、印籠に根付を付けることが大流行し、象牙の根付が多数つくられました。

「象牙工芸館」では、三味線の撥や根付など、さまざまな象牙製品が展示されています。野菜の形の中に微細な彫刻がほどこされた工芸品や迫力のある牡丹の彫刻作品は必見。事務局長さんの解説とビデオ観賞で、象牙に関する知識が深まります。

- 見学／料金 無料／定員 8名程度／対象 小中高生・一般／所要時間 30分～1時間程度（口頭での説明とパネル、ビデオ視聴。象牙製品の見学）／見学可能日 平日（土曜・日曜・祝日は休み）／時間 10:00～16:00（12:00～13:00は昼休み。担当者不在の場合があるので、見学の前には必ず電話を）
※見学を希望する場合は、その目的、どのようなものを見たいのか、質問事項、見学者の氏名（団体名）、希望人数、希望日、開始時刻、連絡先を明記のうえ、希望日の3週間前までにFAXにて申し込んでください。



問合先 有限会社 額縁工房田島

- 所在地／〒111-0053 台東区浅草橋4-19-2
■アクセス／JR総武線「浅草橋」駅下車徒歩5分
■TEL 03-3851-9432 / FAX 03-3851-9435



問合先 東京象牙美術工芸協同組合

- 所在地／〒111-0035 台東区西浅草3-26-3
■アクセス／つくばエクスプレス「浅草」駅下車徒歩5分／東京メトロ銀座線「田原町」駅下車徒歩12分／東京メトロ銀座線「浅草」駅下車徒歩15分／東武伊勢崎線「浅草」駅下車徒歩15分
■TEL 03-3841-2533 / FAX 03-3841-2557
／メール jiaivory@jcom.home.ne.jp
／HP <http://www.tokyo-ivory.or.jp/>



木村 正

きむらただし

素材の乾燥から、漆塗りまですべての工程を一貫して行う工房です。加工が難しいとされる桑を使い続けており、産地の御蔵島から、直接仕入れを行っています。技術と素材、双方へのこだわりが伝わってきます。

素材の桑の乾燥から塗りまで、すべての工程をこの工房で行っています。そのため、ふだんの作業に使う道具だけでなく、ほかでは見られない乾燥中の桑や、ほぞで組んだ指物の裏側も見るすることができます。

桑の棒材をカンナで削り、箸を作ります。桑は堅さがあり、最初は思うように削れません。しかし、2時間カンナを使ううちに、少しずつ慣れていきます。気づくと木目の美しい箸ができあがっています。

見学

体験

井上 喜夫

いのうえよしお

加工から漆塗りまで、すべての工程を手掛ける数少ない工房です。お客様の家の空調に応じて、素材を変えるなど、生活に馴染む指物を作り続けています。工房の100を超える手作りのカンナには、職人の強いこだわりが込められています。

井上さん宅の1階が工房です。基本となるカンナかけや組手など、指物ならではの作業を見ることができます。

外からは継ぎ目も釘跡も見当たらない指物。その技術の秘密を教えてくださいることができます。継がれた板の木目もピッタリと合うから、驚きです。指物ならではの技術は、まるで手品か魔法を見るようです。



■見学／料金 無料／定員 4～5名／見学可能日 平日／時間 10:00～17:00

■見学／料金 無料

■体験／料金 3,000円／定員 6名程度／所要時間 2時間程度／休日 日曜・祝日

※見学・体験にあたっては、要事前連絡。

問合先 井上 喜夫

■所在地／〒116-0014 荒川区東日暮里4-18-5

■アクセス／JR山手線「鶯谷駅」下車徒歩10分

■TEL 03-3807-3426 / FAX 03-3807-3426



問合先 木村 正

■所在地／〒110-0004 台東区下谷3-1-1

■アクセス／東京メトロ日比谷線「入谷」駅下車4番出口より徒歩3分

■TEL 03-3874-7926 / FAX 03-3874-7926



田中製簾所

たなかせいれんじょ

明治時代から続く製簾所です。ほとんどは直接注文なので、発注者の要望に応じて簾作りにとりかかります。一般の見学のほか、地元の学校での技術実演などを通じ、江戸から受け継がれる伝統を地域に伝え続けています。

見学

リズムカルに竹を編んでいく様子を見学できます。また、御簾や屏風など各種の簾製品もあり、屏風にも簾を縦に用いたもの、横に用いたものがあるなど、製品の特徴がよくつかめます。

体験

簾のランチョンマットを製作します。小物ですが、竹を糸で「編む」という製簾技術の基礎が凝縮されています。作品は持ち帰ることができます。

- 見学／料金 無料／定員 10名
 - 体験／料金 3,000円／定員 10名／所要時間 2時間
 - 休日 不定休
- ※見学・体験にあたっては、日程も含め要予約。



問合先 株式会社 田中製簾所

- 所在地／〒111-0031 台東区千束 1-18-6
- アクセス／東京メトロ日比谷線「入谷」駅下車 徒歩7分
- TEL 03-3873-4653 / FAX 03-3874-0746
- ／メール info@handicrafts.co.jp
- ／HP <http://www.handicrafts.co.jp/>

江戸指物処 渡辺

えどさしものどころわたなべ

台東区指定の「アトリエ店舗」のひとつとして指物製品を展示しています。指物ならではのからくりのような工夫が凝らされた作品もあります。当代で3代目の工房で、周辺には伝統工芸の職人が多く工房を構えています。

見学

1階では作品を展示・販売。定番の鏡台や小箆筥に加え、箸などもあります。床から天井裏まで素朴な木の質感を活かした2階の作業場では、カンナがけや、ほぞ組など、指物師ならではの技を目の前で見ることができます。



- 見学／料金 無料／定員 8名程度／所要時間 1～2時間／休日 日曜日／時間 10:00～17:00
- ※要事前連絡。

問合先 江戸指物処 渡辺

- 所在地／〒110-0012 台東区竜泉 3-25-4
- アクセス／東京メトロ日比谷線「三ノ輪駅」下車徒歩8分
- TEL 03-3873-3050 / FAX 03-3873-3050
- ／メール edo@watanabe-sashimono.net
- ／HP <http://www.watanabe-sashimono.net/>



染の里 二葉苑

そめのさとふたばえん

落合とともに新宿区の染めの街として知られる中井。駅から続く妙正寺川沿いの住宅街に佇む大正9年創業の型染め工房です。ギャラリーとカフェを併設する新宿ミニ博物館のひとつで、伝統の技を守りながら、斬新なアイデアで魅力的な作品を生み出しています。



関東注染工業協同組合 「手拭実染塾」

(主管：東京和晒)

かんとくちゅうせんこうぎょうきょうどうくみあいにてぬいじっせんじゅく
どうきょうわざらし

古くから日本人になじみの深い、ゆかたや手拭を染め上げる技法を伝承している工房。「手拭実染塾」は、一枚の型紙で何色にも染めることができる「注染」に親しんでもらう体験講座です。注染に関するさまざまな技術を伝え、後継者の発掘を心がけています。

型紙に糊を引き、染料を注いで染め上げる「注染」という伝統的な技法で、手拭（10本くらい）を作りましょう。午前は中央に柄がある型紙で基本をマスター。午後に季節の花など、全体にモチーフをちりばめた総柄にチャレンジします。

体験

■体験／料金 16,000円／
定員 8名／所要時間 6
時間／開催日 概ね毎月1
回（日程はホームページに
掲載）／時間 10:00～
17:00（うち12:00～13:00
は昼休み）
※昼食・長靴・ゴム手袋持参。



見学

染色技術の極みと言われる江戸更紗と小紋の工房をガラス越しに見学できます。図柄に色をつける工程や生地を蒸す作業をのぞいてみましょう。

体験

エキゾチックな図柄のテーブルセンターを型染めで作ります。花鳥がモチーフの12枚の型紙を使い、6色の顔料で濃淡をつけながら、約1時間で摺り上げます。汚れてもいい服装で行くか、エプロンを持参してください。



■見学／料金 無料／所要時間 30～60分／時間 11:00～17:00（12:00～13:00は職人不在）
■体験／料金 2,500円／定員 5名／対象 小学4年生以上／所要時間 約1時間／時間 14:00～（予約・キャンセルは2営業日前の15:00まで）
※見学・体験可能日 火～土（年末年始を除く）
※体験は、汚れてもいい服装で行くか、エプロン持参。

問合先 株式会社 二葉

■所在地／〒161-0034 新宿区上落合2-3-6
■アクセス／西武新宿線・都営大江戸線「中井」
駅下車徒歩4分（大江戸線は出口A2）
■TEL 03-3368-8133 / FAX 03-3362-3287
／メール gallery@futaba-en.jp
／HP <http://www.futaba-en.jp/>

問合先 関東注染工業協同組合
「手拭実染塾」(東京和晒内)

■所在地／〒124-0012 葛飾区立石4-14-9 東京和晒株式会社内
■アクセス／京成押上線「京成立石」駅下車徒歩5分
■TEL 03-3693-3333 / FAX 03-3694-7788
／メール office@tezome.com
／HP <http://www.tezome.com/>
※TEL、FAX、メールは問い合わせのみ。
※体験申込はHPで受け付け。



御人形司 市川豊玉

おにぎょうしいちかわほうぎょく

東京で代々続く人形師の家を飛び出し、平成元年（1989年）に、山梨県でたったひとりで始めた工房です。市川さんの作る人形には、しっかりとした時代考証による裏づけがあります。ふんわりと着物をまとった小ぶりの雛人形ですが、細部にも歴史や文化が見てとれます。

女の子のすこやかな成長を願って飾られる、雛人形の製造工程を見学できます。色とりどりの優美な衣裳をまとった雛人形は、たしかな時代考証のもと、ていねいな手仕事によって作られています。大量生産品との違いを確かめてみてください。



■見学／料金 無料／定員 10名程度／対象 小学生以上
／所要時間 30分～1時間程度／見学可能日 1～5月は
無休、6～12月は不定休／時間 10:00～18:00
※1～5月の繁忙期は、余裕をもってお問い合わせください。

問合先 御人形司 市川豊玉

■所在地【山梨工房】〒407-0175 山梨県韮崎市穂坂町宮久保783-48 / TEL0551-23-0711 / FAX0551-23-0712【東京本社】〒166-0013 杉並区堀ノ内1-6-3 / TEL03-3316-7881 / FAX 03-3318-9203
■アクセス【山梨工房】JR「韮崎」駅下車>タクシーで15分／市民バス穂坂線「東ヶ丘病院」下車徒歩2分【東京本社】東京メトロ丸の内線「方南町」駅下車徒歩2分／京王井の頭線「永福町」駅下車徒歩10分
■HP <http://www.hinaya.co.jp/>



竿富

さおとみ

魚の動きを直に手に伝えるとして、和竿は釣り人に愛されています。釣る魚や場所、釣り方により、釣り人は異なった和竿を手にとると言います。竿富は、釣り人のこだわりに応え、吉田さんの手で1本1本、和竿を作り上げる工房です。



■見学／料金 無料
／定員 3名程度
／見学可能日 平日



問合先 竿富

■所在地／〒110-0008 台東区池之端2-7-13
■アクセス／東京メトロ千代田線「根津」駅下車徒歩1分
■TEL 03-3823-3244 / FAX 03-3823-3244



彩り硝子工芸

いろどりがらすこうげい

「江戸切子」の職人だった父の遺志を受け継ぎ、平成6年4月に開設した、熊倉憲二さんの工房兼ショールームです。店内には、思わず目移りしてしまうほど色とりどりの切子が並んでいます。周辺は「七福神めぐり」「東京スカイツリー観光」のコースにもなっていて、ふと立ち寄る方も多いそうです。

「江戸切子」の製作体験と平行して、工程の見学も可能です。運が良ければ、お客さんの要望に応じて新柄を入れているところが見られるかもしれません。

ペーパーウェイト、グラス、風鈴から選び、職人さんが使っている工具を使いカットします。職人さんが仕上げをしてくれるので、当日持ち帰ることができます。

見学

体験

■見学／料金 無料（見学のみは不可）

■体験（要予約：メールまたはHPの申込フォームから）／料金 小中学生 2,100 円、大人 3,150 円／定員 小中学生は 4 名～（5 名以上は日時要相談）、大人は 1 名～／対象 小学 3 年生以上／所要時間 2 時間程度／可能日 土日祝日（その他の曜日にも応相談）／時間 10:00 ～ 12:00（午後にも応相談）

※体験は 3 コース（ペーパーウェイト：3,150 円、グラス：3,885 円、風鈴：5,250 円）

※小中学校の長期休み期間は親子体験を開催（期間中の土日祝日は大人の体験日）

※修学旅行等の体験学習は平日開催

※障がいのあるお子さまの体験希望等は、事前にお知らせください。

問合先 彩り硝子工芸

■所在地／〒136-0071 江東区亀戸 4-19-13

サニービル 2 階

■アクセス／JR 総武線・東武亀戸線「亀戸」

駅下車 徒歩 5 分

■TEL 03-5609-3618 / FAX 03-5609-3618

／メール irodori@edokiriko.com

／HP <http://www.edokiriko.com/>

／Twitter ID @kirikotubuyaki



江戸衣裳着人形

松崎人形（幸一光）

まつぎきにぎょう・こういっこう

美術大学で彫刻を学んでいた松崎さんは、父・二代目松崎昭玉さんの急死を受けて、21 歳で人形師の道に入りました。それから約 40 年。業界でも珍しい「衣裳着」「木目込」の両方を手がける工房を運営しています。独自性をはっきり出すため、人形の「かしら（頭）」の型を自ら作りました。納得のいく表情ができるまで 10 年かかったそうです。

「江戸衣裳着人形」「江戸木目込人形」の製造工程を見学できます。この 2 種類の人形の工程を同時に見られるのは「幸一光」ならではの。衣裳着人形であれば、「かしら」の取り付けや腕を曲げて人形に動きを加える「振り付け」の工程、木目込人形であれば、衣裳を筋彫りした溝に「木目込む」工程が見どころです。

繁忙期（11～3 月）以外は、小学校高学年以上の体験学習を受け入れています。詳細はお問い合わせください。

■見学／料金 無料／定員 5～10 名程度／対象 小学校高学年以上／所要時間 1 時間程度／可能日 平日／時間 10:00～18:00

■体験（体験学習）／対象 小学校高学年以上（一般は不可）／可能日 繁忙期（11～3 月）を除く／料金、定員、時間については要問合せ

問合先 株式会社 松崎人形（幸一光）

■所在地／〒123-0842 足立区栗原 2-4-6

■アクセス／東武伊勢崎線・大師線「西新井」

駅東口下車徒歩 10 分

■TEL 03-3884-3884 / FAX 03-3884-3886

／HP <http://www.koikko.com/>



見学

体験

加藤 鞆美
かとうともみ

節句飾りとして有名な「江戸甲冑」は、こかつちゅう古甲冑を正確に踏まえて制作されています。加藤さんは甲冑師一家の次男。先代が全国を歩いて調査した資料や知識を兄弟で引き継ぎ、平安、鎌倉当時の技と現代のハイテク技術をすり合わせて、日夜、伝統の継承に取り組んでいる、生きる百科事典のように知識をたくわえた名匠です。

見学

板金・染色・組み紐・皮革など、多岐にわたる伝統的技術・知識の集大成である「江戸甲冑」の製造工程を、加藤さんの楽しくて、ためになる解説付きで見学できます。どの工程（おど「威し」「鉢作り」「金具作り」等）が見たいのか、事前に電話でご相談ください。

■見学／料金 無料 定員 5～6名程度／対象 小学生以上／所要時間 2時間程度／見学可能日 繁忙期（12～4月）以外の平日／時間 13:00～17:00
※体験は要相談。



問合先 加藤 鞆美

■所在地／〒113-0023 文京区向丘 2-26-9
■アクセス／東京メトロ南北線「本駒込」駅下車徒歩6分／都営三田線「白山」駅下車徒歩10分
■TEL 03-3823-4354 / FAX 03-3823-4354

南川 禄三郎商店
みなみかわろくさぶろうしょうてん

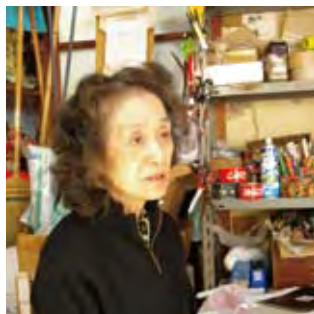
3代続く工房で、現在はおかみさんと近くに住む職人さんの2人で作業をしています。押絵羽子板のほか、雛人形、五月人形も手がけており、工房には1年中、色とりどりの工芸品が並びます。歌舞伎の所作や美人画の図柄が取り付けられた押絵羽子板は、12月の羽子板市で多くのファンに求められます。

見学

押絵羽子板は、布地、かんざし、めんそうし面相師の描く顔など、さまざまなパーツの組み合わせによる独特の立体感が、その特徴です。しかも50を超えるパーツを板枠にぴったり収まるように組み上げます。それをすべて把握して作業する熟練職人の技をご覧ください。

■見学／料金 無料
／定員 10名程度
／休日 土日祝日

※羽子板の見学は9月中旬～11月下旬頃。時期によって、節句品などの見学も可能。
※要電話予約。



問合先 南川 禄三郎商店

■所在地／〒125-0054 葛飾区高砂 3-7-11
■アクセス／京成線「高砂」駅下車徒歩5分
■TEL 03-3657-3975 / FAX 03-3657-3975



庄三郎

しょうざぶろう

洋裁用の裁ちばさみは明治時代に日本へ伝わり、江戸以来の刀鍛冶の技術で国産化されました。庄三郎はこの技術を受け継ぎ、大正9年に創業。伝統的な技術を近代的な設備のもとで活かしたはさみづくりを続けています。

見学

研磨など、工場での作業工程のほか、裁ちばさみを中心に、素材や大きさの違う各種のはさみが見学できます。また、伝統的な製法と現在行われている製法の違いを、製造工程順に、見本を使って見比べることができます。



■見学／料金 無料／定員 4名程度／対象 小学生以上／所要時間 2時間程度／見学可能日 平日／時間 午前のみ

問合先 株式会社 庄三郎

■所在地／〒121-0064 足立区保木間 5-2-14
■アクセス／東武伊勢崎線「竹ノ塚」駅下車＞東武バス林松寺経由花畑団地行「保木間5丁目」下車徒歩3分、または花畑団地行「北保木間」下車徒歩6分
■TEL 03-3884-3155 / FAX 03-3884-4617
／メール info@shozaburo.co.jp
／HP <http://www.shozaburo.co.jp/>



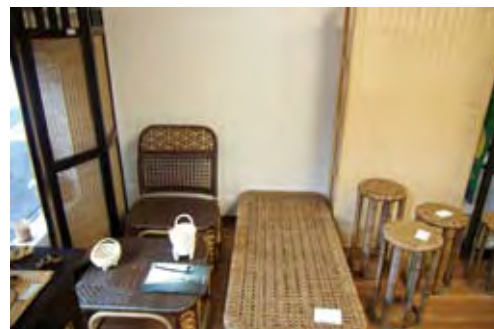
工房ショップおみねらたん

こうぼうしょっぷおみねらたん

当主親子二代を含む、5名で運営する工房です。工場近くのショップでは、各種製品のほか、加工前の籐をはじめとした資料も展示されています。また、火を用いて籐を曲げる様子を間近で見学することもできます。

見学

ショップにしつらえた作業場では、籐を加熱して自在に曲げる工程の実演を見学できます。また、厳選して輸入された原料の籐を、解説のパネルとともに展示。熱帯の植物が家具や道具に変わるまでが、ひと目でわかります。



■見学／料金 無料／休日 日曜日（臨時休業あり）／時間 10:00～18:00

問合先 工房ショップ おみねらたん

■所在地／〒131-0045 墨田区押上 2-4-9
■アクセス／東京メトロ半蔵門線押上駅下車 A3 出口徒歩3分／東武伊勢崎線業平橋駅下車徒歩1分
■TEL 03-3623-0433 / FAX 03-3625-7874
／メール info@ratan.jp
／HP <http://www.ratan.jp>



近藤染工（良寛染元）

こんどうせんこう・りょうかんぞめもと

1940年の創業以来、どんな微妙な色合いも指定通りの色に手作業で見事に染め上げてきた、地域ブランド商標登録済の無地染工房。濃淡が美しい彩峰染め、紬の縞ぼかしや草木染めの着物・着尺に職人の技と色彩感覚が冴えています。絶妙なぼかしのセンスで表現した絞り染めのスカーフや小物入れも魅力です。

布地を染めムラのない柔らかな風合いに染め上げる作業工程を追いかけてみましょう。色見本とまったく同じように染め上げる色合わせは実に見事です。

ビー玉やクリップなどでシルクの絞り染めにチャレンジしてみましょう。輪ゴムなどで縛った部分が染められずに白く残り、おもしろい模様ができます。



- 見学／料金 無料／定員 8名まで／対象 小学校5年生以上／所要時間 1時間以内／可能日 月～金曜（1、8、12月は不可）／時間 10:00～12:00、13:00～16:00
 - 体験／料金 2,000円／定員 5～8名／対象 中学生以上／所要時間 2～3時間／可能日 月～金・土曜（1、8、12月は不可）／時間 10:00～12:00、13:00～15:00（土曜日は午前のみ）
- ※見学は2週間前まで、体験は1か月前までに電話かFAXで要予約。
FAXには氏名・電話番号を明記
※体験は汚れてもいい服装で。夏は汗を拭くタオルやハンカチ持参。

問合先 株式会社 近藤染工（良寛染元）

- 所在地／〒135-0024 江東区清澄2-15-3
- アクセス／都営地下鉄大江戸線・東京メトロ半蔵門線「清澄白河」駅下車A1出口より徒歩2分
- TEL 03-3641-2135／FAX 03-3641-3756
／HP <http://www.tokyo-senshoku.com/partner/member/kondo/kondosenko.html>



東京三味線

向山楽器店

むこうやまがっきてん

関西では棹に漆をかけますが、東京三味線は、砥石で磨くことで、ツヤを出すのが特徴です。自然なツヤを出す磨きは、音を支える皮張りとともに、丹念な手仕事が生み出す熟練の技の世界です。



皮を三味線の胴に張り付ける「皮張り」の工程です。三味線の皮は消耗品で、しばしば張り替えます。なお、猫皮を扱う際は、犬皮より神経を使うため、見学は受け付けていません。

紅木（こうき／レッドサンダー）をヤスリで磨き上げ、コースターまたは箸を作る体験です。ヤスリの目を少しずつ細かくすることで、紅木のツヤがどんどん増すのが分かります。磨いてツヤを出す東京三味線ならではの技術です。

- 見学（要予約）／料金 無料／定員 2～6名／所要時間 1時間
- 体験／料金 1,500円／定員 2～6名／所要時間 2～3時間（通常3時間程度）
- 休日 不定休（都合により受けられない日あり）／時間 9:30～17:00

問合先 向山楽器店

- 所在地／〒132-0035 江戸川区平井4-1-17
- アクセス／JR総武線平井駅徒歩5分
- TEL 03-3681-7976／FAX 03-5836-5883
／メール masanari@sirius.ocn.ne.jp
／HP <http://www.mukouyama.jp/>



かねこ琴三絃楽器店

かねこことさんげんがっきてん

福島県にも工房を持ち、音の伸びが良いとされる会津桐の丸太を製材し、一貫生産で琴にまで仕上げる唯一の工房です。工房創業者の金子誠次さんは会津の桐材店の出身で、現在は、主に二代目の政弘さんが琴作りにあたっています。桐材へのこだわりは、代替わりしても変わることなく、美しい音色と優美な姿を追求しています。

見学

「見学者には必ず琴に触れてもらいます」と金子さんは言います。自分の指で触れて、その音色や響きを体感するチャンスです。また、琴の細部に施された細工の数々も見ごたえがあります。



■見学（要予約）／料金 無料／定員 6名まで／見学可能日 要予約（曜日等は限定なし）／時間 10:00～18:00



東京松屋ショールーム・ショップ

とうきょうまつやしょーるむ・しょっぷ

元禄3年（1690年）創業以来、江戸からかみの魅力を伝える版元和紙問屋のインテリア和紙ショールームショップ。生活が洋式化しても、暮らしに安らぎと落ち着きを添える手漉き和紙を、さまざまな方法で提案しています。

見学

1階の小物売り場から、2階、3階と続くショールームは、販売を目的とした商品の陳列が本来の役割。しかしその内容は、江戸からかみの世界をじっくり堪能できるまるで博物館のような趣があります。江戸の昔、家々を美しく飾った襖や衝立などに使われた伝統の美しさに感動する空間でもあります。希望者は、製作工程の説明ビデオも鑑賞可能。

■見学／料金 無料／定員 特になし（学校・クラス等団体の場合は要事前連絡）／所要時間 20～30分程度（ビデオ鑑賞の場合は別途30分程度）／休日 日曜祝日、年末年始／時間 9:00～17:00

問合先 かねこ琴三絃楽器店

■所在地／〒146-0083 大田区千鳥 3-18-3
 ■アクセス／東急多摩川線「下丸子」下車徒歩5分／東急池上線「千鳥町」下車徒歩5分
 ■TEL 03-3759-0557 / FAX 03-3758-0080
 ／メール kaneko@kanekogakki.jp
 ／HP <http://www.kanekogakki.jp/>



問合先 株式会社 東京松屋

■所在地／〒110-0015 台東区東上野 6-1-3
 ■アクセス／東京メトロ銀座線「稲荷町」駅下車徒歩2分
 ■TEL 03-3842-3785 / FAX 03-3842-3820
 ／メール showroom@tokyomatsuya.co.jp
 ／HP <http://www.tokyomatsuya.co.jp>



坂森七宝工芸店

さかもりしっぽうこうげいテン

「七種の宝石の輝き」を意味する七宝は、江戸時代は秘伝の技術でしたが、明治時代には弟子を取りはじめ、ひろく開放されました。「東京七宝」は、勲章を作る帝室技芸員（ていしつぎげいいん）たちの技術を今に伝えるものです。七宝職人が時代の流れの中で年々少なくなっていくなか、坂森登さんは、七宝を次世代に伝えるため、体験教室を運営しています。台東区「アトリエ店舗」の指定も受け、ますます気軽に体験ができるようになりました。

七宝のペンダントづくりが気軽に体験できます。薬品を使う工程は省略されているので、小さいお子さんでも、お母さんといっしょなら大丈夫です。ペンダントのほかに、ベネチアングラスのミルフィオリを使う小物も作れます。小学生から一大人の方まで、幅広い世代に人気の体験教室です。

体験

- 体験／料金 1,200円コース：ペンダント1点／1600円コース：ペンダント1点＋キーホルダー・スプーン・フォーク・携帯ストラップのいずれかひとつ／定員 4～14名／対象 小中高生・一般／所要時間 約2時間／体験可能日 平日午前（月・木は午後也可）、第2・3・4土曜日午前／時間 午前の場合は10:00～12:00、午後の場合は13:00～17:00の間
※要予約。予約にあたってはホームページを参照。



アダチ版画研究所

あだちはんがけんきゅうじょ

昭和初期、伝統的な浮世絵の復刻に着手したのが工房の始まりです。現在では復刻のほか、現代画家によるオリジナル作品を手がけるなど、新作も扱っています。技術実演会の開催など普及活動にも力を入れています。

見学

年に6度の実演会には、30名の定員にファンが殺到。会場は静かな熱気に包まれます。会場のギャラリーには、浮世絵、新作のほか、版画の工程や版木、作業に使う刷毛などの道具類、染料なども常設展示されています。

- 見学（ギャラリー）／料金 無料／休日 祝日／時間 平日 10:00～18:00、土日 10:00～17:00
■実演会（年6回開催）／料金 無料／定員 30名まで／所要時間 2時間
※実演会は要予約。



問合先 株式会社 アダチ版画研究所

- 所在地／〒161-0033 新宿区下落合3-13-17
■アクセス／JR山手線「目白」駅下車徒歩10分
■TEL 03-3951-2681 / FAX 03-3951-2137
／メール adachi@adachi-hanga.com
／HP <http://www.adachi-hanga.com>



問合先 坂森七宝工芸店

- 所在地／〒111-0041 台東区元浅草1-2-1
■アクセス／都営大江戸線「新御徒町」駅A3出口徒歩2分／JR山手線「御徒町」駅徒歩15分／東京メトロ日比谷線「仲御徒町」駅徒歩7分
■TEL 03-3844-8251 / FAX 03-3844-8251
／メール info@sakamori-shippo.com
／HP <http://www.sakamori-shippo.com/>



宮川刷毛ブラシ製作所

みやかわはけぶらせいさくじょ

大正の終わりころに創業した刷毛とブラシの店。2代目の宮川彰男（みやかわあきお）さんは、下町にありながら戦火をまぬがれた店舗で、先代や奥さんとともに手植えブラシを作り続けてきました。戦後、大きく移り変わってきた東京の産業や社会、人々の生活を、ブラシ製作によって支えてきた宮川さん。今は自作のブラシに加え、信用できる職人さんの品物だけを扱う専門道を営んでいます。たしかに目と品質ゆえに熱烈なファンの多い工房です。



花藤

はなとう

明治26年から続く浅草の老舗。浅草神社の三社祭軒提灯を手がけています。小料理屋などの店先に掲げる商業用の依頼も多く、作業場には納品を待つ大小さまざまな提灯が並んでいます。貴重な骨董提灯の修復も手がけています。

浅草と江戸文字を愛する粋な職人の作業工程を追いかけてみましょう。店内には、大小さまざまな丸型や高張、特殊な一升瓶型などの提灯が並んでいます。

見学



■見学／料金 無料／定員 6名程度（7名以上も応相談）／所要時間 作業内容により異なる／見学可能日 火曜日以外／時間 11:00～16:00（12:00～13:00を除く。店舗の営業時間は10:00～20:00）

※来店時に作業している様子を見学するため、見学内容はその時により異なります。

問合先 宮川刷毛ブラシ製作所

■所在地／〒111-0041 台東区元浅草2-10-14

■アクセス／東京メトロ銀座線「稲荷町」駅下車徒歩2分／JR山手線・東京メトロ日比谷線「上野」駅下車徒歩10分

■TEL 03-3844-5025 / FAX 03-3841-9343
／HP <http://www17.ocn.ne.jp/~edo-hake/>



問合先 有限会社 花藤

■所在地／〒111-0032 台東区浅草2-25-6

■アクセス／つくばエクスプレス「浅草」駅下車徒歩5分／東武伊勢崎線「浅草」駅下車徒歩10分／都営地下鉄浅草線「浅草」駅下車徒歩15分／東京メトロ地下鉄銀座線「田原町」駅下車徒歩15分

■TEL 03-3841-6411 / FAX 03-3841-8788
／HP <http://www2.plala.or.jp/Asakusa-Hanato/>



大嶋屋恩田

おおしまやおんだ

安政元年（1854年）から続く浅草の老舗。お祭りや神社に飾る提灯、料理屋の店先につるす赤提灯や家紋入り提灯にとどまりません。大人気の似顔絵入り提灯は金婚式祝いや結婚式で大活躍。電池でLED点燈する「ちょうちん安光^{あんこう}」もインテリアに彩りを添えると好評です。



■体験／料金 2,000円（3号と4号以上の提灯は追加料金が必要）／
定員 10名程度まで／所要時間 1時間～1時間30分／休日 主
に日曜祝日（不定休あり）／時間 午前中
※2週間前までにFAXで要予約。当日の連絡先・日時・人数を明記の
こと。問合せは電話またはFAXで。



問合先 有限会社 大嶋屋恩田

■所在地／〒111-0043 台東区駒形 2-6-6

■アクセス／東都営浅草線「浅草」駅徒歩3分／
東京メトロ銀座線・東武伊勢崎線「浅草」駅徒歩
5～6分／都営大江戸線「蔵前」駅徒歩5分

■TEL 03-3841-2691／FAX 03-3841-2619

／メール info@chochin-ya.com

／HP <http://www.chochin-ya.com/>

問合先 山崎源七提灯店

■所在地／〒111-0034 台東区雷門 2-9-9

■アクセス／都営地下鉄浅草線・東京メトロ銀
座線「浅草」駅徒歩2分／東武伊勢崎線「浅草」
駅徒歩3分

■TEL 03-3841-8849／FAX 03-3843-2885



山崎源七提灯店

やまざきげんしちちやうちんてん

江戸時代からの浅草の老舗。描くものは祭禮（さいれい）や看板だけでなく、扇子・番傘・落語家のめくりなど実に多彩。何より多いのは三社祭と付随するお祭りの提灯。代々受け継いでいる浅草寺・浅草神社の唯一の出入り職方として、毎年2,000個以上を仕上げます。

粋で凛々しい提灯が生まれる現場をのぞいてみましょう。筆で文字を入れたり、色を付けたりする作業を間近で見ることができます。所要時間は来店時の作業内容により異なりますが、約30分。

見学

■見学／料金 無料／定員 10名程度まで／所要
時間 30分程度（来店時の作業内容により異なる）／見学可能日 月～土曜日／時間 10:00
～18:00（店の営業時間は09:00～19:00）
※電話かFAXで10日前までに要予約。

伝統工芸品にふれる公共施設

都内には、伝統工芸品を紹介している施設があります。地域の工芸品を展示、販売するだけでなく、体験教室を開設しているところや、カフェを併設したところもありますので、ぜひ足を運んでみてください。

- 台東区立江戸下町伝統工芸館
- すみだ郷土文化資料館
- 工匠壺番館・式番館
- 荒川区立荒川ふるさと文化館
- 石神井公園ふるさと文化館
- 葛飾区伝統産業館
- 篠崎文化プラザ 伝統工芸カフェ・アルティザン
- グリーンパレス内ベーカリーカフェ「フォレスト」
- 江戸東京博物館
- 全国伝統的工芸品センター
- 中小企業基盤整備機構テストマーケティングショップ R i n

台東区立江戸下町伝統工芸館

- 展示／江戸職人の伝統工芸品を多数常時展示。また、台東区の優秀技能者作品展などの企画展や伝統工芸の手作り教室も開催。
- 体験／年間6回程度、不定期で体験教室を1階で開催。実費は必要となる。申し込み先着制。詳細・日時等は問い合わせ
- 実演／毎週土・日は11:00～17:00で職人の実演あり。内容は問い合わせ。
- 資料／1階にビデオ上映コーナー。20種類以上の伝統工芸関連映像の視聴可
- 【所在地】〒111-0032 台東区浅草2-22-13 / tel: 03-3842-1990 fax: 03-3842-1900
- 【電車】つくばエクスプレス「浅草」駅徒歩4分／東京メトロ銀座線・都営浅草線・東武線「浅草」駅徒歩10分
- 【バス】都バス「浅草3丁目」徒歩1分／「浅草公園6区」徒歩8分
- 【駐車場】なし



すみだ郷土文化資料館

- 展示／3階の企画展示室を使用し「すみだ粋の世界」というタイトルで展示。年間約4ヵ月間。時期は不定なので要問い合わせ。
- 体験／夏休みに子供向けに伝統工芸品に関する製作体験教室を実施する。ただし、不定期なので詳細は問い合わせ。
- 実演／なし
- 資料／ビデオ・DVDなどの視聴覚資料がある。閲覧希望の際は、問い合わせ
- 【所在地】〒131-0033 墨田区向島二丁目3番5号 / tel:03-5619-7034 fax:03-3625-3431
- 【電車】東武線「業平橋」駅徒歩7分／都営浅草線「本所吾妻橋」駅徒歩8分／都営浅草線・東京メトロ銀座線・東武線「浅草」駅徒歩10分
- 【バス】都バス「本所吾妻橋」徒歩8分／「言問橋」徒歩3分／京成バス「言問橋」徒歩3分
- 【駐車場】なし



工匠壺番館・式番館

- 展示／伝統工芸品の常設展示施設で、ふたつに分かれている。
- ・「工匠壺番館（たくみいちばんかん）」
区無形文化財保持者制作の工芸品を展示。
- ・「工匠式番館（たくみにばんかん）」
工芸品制作に欠かせない道具類など、制作の過程に関わる展示。
また、職人の仕事場を実物大に再現。
- 体験／なし
- 実演／なし
- 資料／なし
- 【所在地】〒135-0004 江東区森下3-12-7（森下文化センター2階） / tel: 03-3647-9819（江東区教育委員会地域振興部文化観光課文化財係）
- 【電車】都営新宿線・大江戸線「森下」駅徒歩10分
- 【バス】都バス「高橋」徒歩5分／「森下五丁目」徒歩5分
- 【駐車場】19台（有料）



荒川区立荒川ふるさと文化館

■展示／荒川区の指定文化財として購入した工芸品からセレクトして展示。年間1回、1～2ヶ月間コーナー展示を行う。展示場所となる企画展示室の大きさは、148平方メートル。

■体験／なし

■実演／なし

■資料／1階の郷土学習室で、荒川区の指定文化財として登録された伝統工芸士の製作過程を記録した映像を貸出。約50本。

【所在地】〒116-0003 荒川区南千住六丁目63番1号／tel: 03-3807-9234 fax: 03-3803-7744

【電車】JR常磐線・東京メトロ日比谷線・つくばエクスプレス「南千住駅」徒歩10分／京成本線「千住大橋」徒歩約10分

【バス】都バス「千住大橋」徒歩3分

【駐車場】数台



葛飾区伝統産業館

■展示／約1000点の伝統工芸品を展示・販売。工芸品の作者ごとに陳列スペースが設定されている。(取扱:江戸和竿、江戸押絵羽子板、江戸衣装着人形、江戸切子、江戸打刃物、東京打刃物、銅器・銅製おろし金、東京銀器、伊勢形紙、江戸型・引き彫り、江戸木彫刻、東京仏壇、竹細工、銅版仏画、印伝、棕櫚たわし、東京手描友禅、唐木細工、硝子彫刻、鼈甲(べっこう)、象牙彫刻)

■体験／毎月第3土曜日の午後、小学5年生以上を対象に開催。受講料は2,000円(材料費含む)。詳細はウェブサイトを参照または直接産業館に問い合わせ。

■実演／なし

■資料／なし

【所在地】〒124-0012 葛飾区立石7-3-16／tel: fax: 03-5671-8288

【電車】「京成立石」駅徒歩2分

【バス】京成バス「立石七丁目」徒歩すぐ

【駐車場】なし



石神井公園ふるさと文化館

■展示／練馬区に関連のある伝統工芸などを展示。1階はほぼ3ヶ月に一度のペースで、2階の「常設展示室」は、1ヶ月に一度のペースで展示内容を変更。

■体験／なし

■実演／なし

■資料／なし

【所在地】〒177-0041 練馬区石神井町5丁目12番16号／tel: 03-3996-4060 fax: 03-3996-4061

【電車】西武池袋線「石神井公園」駅徒歩15分／西武新宿線「上井草」駅徒歩20分

【バス】西武バス「JA東京あおば」徒歩5分／「三宝寺池」徒歩2分

【駐車場】なし



篠崎文化プラザ 伝統工芸カフェ・アルティザン

■展示／江戸川区に関連する伝統工芸品を主体として、約20種類、100～150点ほどをカフェスペースに隣接する物販コーナーにて展示販売。

■体験／年に数回「江戸川伝統工芸塾」を開催。要実費。日時・内容などの詳細は要問い合わせ。

■実演／年に数回開催。詳細は要問い合わせ。

■資料／なし

【所在地】〒133-0061 江戸川区篠崎町7-20-19／Tel: 03-3676-9071 fax: 03-3676-6545

【電車】都営新宿線「篠崎駅」西口出口直結「プロシード篠崎タワー」3F



グリーンパレス内 ベーカリーカフェ「フォレスト」

■展示／江戸川区在住の伝統工芸品の作家に依頼したオリジナル作品を、常時7～8種類展示。(販売はしていない)

■体験／毎年4回、「江戸川伝統工芸士の四季を楽しむ三日間」を開催。伝統工芸士10～15人が参加する体験教室を実施。詳細は、問い合わせ。

■実演／上記イベント開催時に実演あり。

■資料／江戸川区の伝統工芸に関する記録映像を所蔵、閲覧可能。問い合わせは、江戸川区教育委員会文化財課へ。

【所在地】〒132-0031 江戸川区松島1-38-1 / Tel: 03-3651-2228 (グリーンパレス「江戸川区民センター」)

【電車】JR総武線「新小岩」駅南口より都バス葛西行または西葛西行で「江戸川区役所前」下車、徒歩3分



江戸東京博物館

■展示／博物館1階入り口付近のミュージアムショップにショーケースを設置して伝統工芸品を展示・販売。内容は不定期で変更。

■体験／なし

■実演／なし

■資料／7階の映像ライブラリーに東京都の伝統工芸品を紹介したビデオを所蔵。

【所在地】〒130-0015 墨田区横網1-4-1 / tel: 03-3626-9974

【電車】JR総武線「両国」駅徒歩3分 / 都営大江戸線「両国」駅(江戸東京博物館前)徒歩1分

【バス】都バス・夢の下町観光路線バス「都営両国駅前(江戸東京博物館前)」徒歩3分

【駐車場】あり(団体バス優先)

【HP】<http://www.edo-tokyo-museum.or.jp/>



全国伝統的工芸品センター

■展示／経済産業大臣指定伝統的工芸品を常時展示・販売。このほか、個別工芸品の特別展開催や、稀少伝統工芸品の展示、優秀工芸品の展示紹介など。

■体験／きもの着付教室(8月9月を除く毎月第2金曜日、料金1,000円、要予約) / その他の体験講座も不定期で開催。

■実演／不定期で開催。内容や日時は、要確認。

■資料／伝統的工芸品に関する資料を収集・所蔵。館内閲覧のみ。

【所在地】〒171-0021 豊島区西池袋1-11-1 メトロポリータンプラザビル1・2F / tel: 03-5954-6066 fax: 03-5954-6036

【電車】西武池袋線・東京メトロ丸ノ内線・有楽町線・副都心線「池袋」駅徒歩5分 / JR線・東武東上線「池袋」駅徒歩1分

【駐車場】なし

【HP】<http://kougeihin.jp/>



中小企業基盤整備機構

テストマーケティングショップ Rin

■展示／「新しい都会の暮らしにフィットする日本全国の工芸品」として、家具、インテリアなど約12カテゴリー、約1,800点を常時、展示販売。

■体験／不定期開催。「手ぬぐい染め体験」「金箔貼り体験」などが開かれたことがある。要問い合わせ。

■実演／不定期開催。「銅細工の実演」などが開かれたことがある。要問い合わせ。

■資料／なし

【所在地】〒107-0061 港区北青山3-6-26 / tel: 03-6418-7020 (Shop&Gallery)、03-6418-7024 (Space & Office)

【電車】東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道」駅徒歩2分

【駐車場】なし

【HP】<http://rin.smrj.go.jp/>



東京の伝統工芸品指定品目一覧

東京都では、下記の要件を備える工芸品について、「東京都伝統工芸品産業振興協議会」の意見を聴いて、知事が東京都伝統工芸品に指定しています。

- 製造工程の主要部分が手工業的であること。
- 伝統的な技術又は技法により製造されるものであること。
- 伝統的に使用されてきた原材料により製造されるものであること
- 都内において一定の数の者が、その製造を行っていること

現在、右記の 41 品目が指定されています。



東京都伝統工芸品マーク

このマークがついている製品は、東京都知事が指定した伝統工芸品です。

都の紋章と伝統工芸品の頭文字の「伝」をあしらいました。

■のついた工芸品は、このパンフレットに見学・体験工房が紹介されているものです。

- 1 村山大島紬■
- 2 東京染小紋■
- 3 本場黄八丈■
- 4 江戸木目込人形■
- 5 東京銀器
- 6 東京手描友禅■
- 7 多摩織■
- 8 東京くみひも
- 9 江戸漆器
- 10 江戸鼈甲■
- 11 江戸刷毛
- 12 東京仏壇■
- 13 江戸つまみ簪■
- 14 東京額縁■
- 15 江戸象牙■
- 16 江戸指物■
- 17 江戸簾■
- 18 江戸更紗■
- 19 東京本染ゆかた■
- 20 江戸和竿■
- 21 江戸衣裳着人形■
- 22 江戸切子■
- 23 江戸押絵羽子板■
- 24 江戸甲冑■
- 25 東京籐工芸■
- 26 東京桐箆笥
- 27 江戸刺繍
- 28 江戸木彫刻
- 29 東京彫金
- 30 東京打刃物■
- 31 江戸表具
- 32 東京三味線■
- 33 江戸筆
- 34 東京無地染■
- 35 東京琴■
- 36 江戸からかみ■
- 37 江戸木版画■
- 38 東京七宝■
- 39 東京手植ブラシ■
- 40 江戸硝子
- 41 江戸手描提灯■

お問い合わせ先

■東京都産業労働局商工部経営支援課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

TEL 03-5320-4783

HP <http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/shoko/>

東京の伝統工芸品指定品目一覧

東京都では、下記の要件を備える工芸品について、「東京都伝統工芸品産業振興協議会」の意見を聴いて、知事が東京都伝統工芸品に指定しています。

- 製造工程の主要部分が手工業的であること。
- 伝統的な技術又は技法により製造されるものであること。
- 伝統的に使用されてきた原材料により製造されるものであること
- 都内において一定の数の者が、その製造を行っていること

現在、右記の 41 品目が指定されています。



東京都伝統工芸品マーク

このマークがついている製品は、東京都知事が指定した伝統工芸品です。

都の紋章と伝統工芸品の頭文字の「伝」をあしらいました。

■のついた工芸品は、このパンフレットに見学・体験工房が紹介されているものです。

- 1 村山大島紬■
- 2 東京染小紋■
- 3 本場黄八丈■
- 4 江戸木目込人形■
- 5 東京銀器
- 6 東京手描友禅■
- 7 多摩織■
- 8 東京くみひも
- 9 江戸漆器
- 10 江戸鼈甲■
- 11 江戸刷毛
- 12 東京仏壇■
- 13 江戸つまみ簪■
- 14 東京額縁■
- 15 江戸象牙■
- 16 江戸指物■
- 17 江戸簾■
- 18 江戸更紗■
- 19 東京本染ゆかた■
- 20 江戸和竿■
- 21 江戸衣裳着人形■
- 22 江戸切子■
- 23 江戸押絵羽子板■
- 24 江戸甲冑■
- 25 東京籐工芸■
- 26 東京桐箆笥
- 27 江戸刺繍
- 28 江戸木彫刻
- 29 東京彫金
- 30 東京打刃物■
- 31 江戸表具
- 32 東京三味線■
- 33 江戸筆
- 34 東京無地染■
- 35 東京琴■
- 36 江戸からかみ■
- 37 江戸木版画■
- 38 東京七宝■
- 39 東京手植ブラシ■
- 40 江戸硝子
- 41 江戸手描提灯■

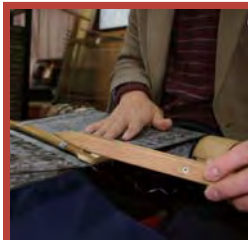
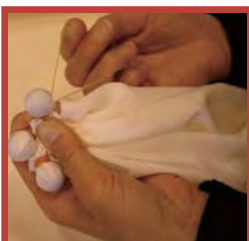
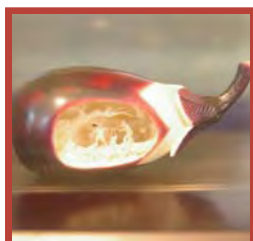
お問い合わせ先

■東京都産業労働局商工部経営支援課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

TEL 03-5320-4783

HP <http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/shoko/>



東京都産業労働局
商工部経営支援課
平成 23 年 3 月発行
登録番号 (22) 156

re100

古紙/バブル配合率 100%再生紙を使用しています